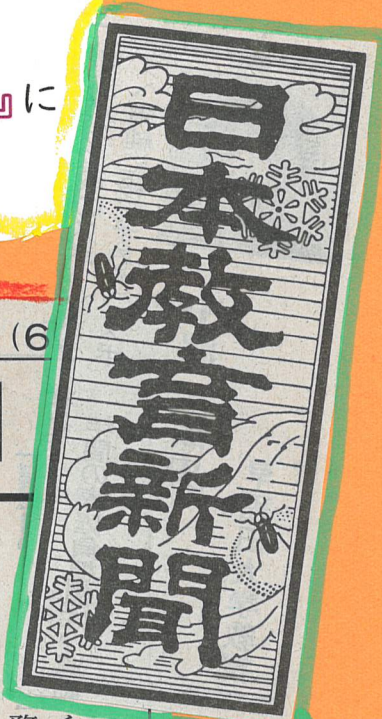


2025年12月8日(月曜日)

日本教育新聞

『実践×理論で考える 組織マネジメントの連載(全4回)』に
めぐみこども園の内容が特集されました ♡ (上)



聞

2025年(令和7年)12月8日(月曜日)

(6)

幼稚園・保育園

実践×理論で考える 組織マネジメント



中戸 華恵

めぐみこども園園長

①

めぐみこども園園長 中戸 華恵
「わくわくする保育」に向けて
めぐみこども園の園長として、約70年の歴史がある園で、私が4代目の園長となります。園長を務めて7年目になります。
園で大切にしていることは、子どもも大人も一人一人が尊重される「共主体」の保育(わくわくする保育)です。好きな遊びを通して葛藤したり試行錯誤したりしながら探究するプロセスを大事にしておて、ピンチをチャンスと、保育者は子どもの姿やつぶやきなどを記録し、対話や振り返りを通して育ちを追ってしました。

めぐみこども園の園長を務めて4年前までは保育者から「行事の見直し」で、保育者の持ち帰り仕事も日常化してあり、「明日につながる対話」が少ないなどの課題がありました。

「わくわくする保育」に向けて
私は自身、課題を前向きに捉え、「子どもがじっくり遊び込める環境をつくりたい」という思いから保育者を務めていた。S先生は他園で勤務経験があり、めぐみこども園でも5年以上前からの保育者を務めていた。子育て中

入職を希望する
考えた上でめぐみこども園への入職を希望する

めぐみこども園の園長を務めて4年前までは保育者から「行事の見直し」で、保育者の持ち帰り仕事も日常化してあり、「明日につながる対話」が少ないなどの課題がありました。

めぐみこども園の園長を務めて4年前までは保育者から「行事の見直し」で、保育者の持ち帰り仕事も日常化してあり、「明日につながる対話」が少ないなどの課題がありました。

めぐみこども園の園長を務めて4年前までは保育者から「行事の見直し」で、保育者の持ち帰り仕事も日常化してあり、「明日につながる対話」が少ないなどの課題がありました。

めぐみこども園の園長を務めて4年前までは保育者から「行事の見直し」で、保育者の持ち帰り仕事も日常化してあり、「明日につながる対話」が少ないなどの課題がありました。